



出水期に備え、河川管理施設等の点検を実施しています！

● 出水期前点検とは

- 堤防や水門・排水機場などの河川管理施設は、台風や豪雨などによる出水時に適正に機能が確保できるよう、予め点検を実施しておく必要があります。このため、揖斐川第二出張所では、出水期に備え、毎年、堤防法面の変状等を確認するため堤防点検や、水門などの河川管理施設の点検を実施しています。また、許可工作物については、許可内容のとおり適正に管理がなされているか施設管理者立ち会いの下、現地で履行確認を行っています。

● 出水期前点検の種類

（１）堤防点検

- 定期的な日常の河川巡視等により、堤防に変状がないか確認を行っています。また、出水期前までに堤防法面の草刈りを行い、堤防に陥没や亀裂の異常がないか、徒歩を中心とした目視により点検を行い、緊急度に応じて、応急的な補修工事等を実施しています。



小動物の巣穴発見（平成26年4月23日撮影）



左写真の拡大写真
（深さ2m程度を確認）



今後の対策イメージ（案）

(2) 水門、排水機場等の点検

- 国が直接管理を行っている新水門川排水機場、福束排水機場において、出水時に適確に稼働するか施設の保守・点検等を実施しました。また、5月9日（金）、直轄排水機場では、直接、操作員と打合せを行い、通常及び出水時における操作・管理体制の諸課題について意見交換を行いました。



新水門川排水機場の操作員との打合せ状況（平成26年5月9日）



新水門川排水機場周辺の施設点検（平成26年5月9日）



排水ゲートからの吐き出し状況の点検
（新水門川排水機場：平成26年4月11日）



排水機場内の電気設備関係の点検
（福束排水機場：平成26年5月8日）

(3) 許可工作物の点検（履行確認）

- 5月15日（木）、国が管理する揖斐川や杭瀬川に設置されている許可工作物（排水機場や樋管など）について、施設を管理する県や市町村等の職員の方々と一緒に巡視し、施設に異常等がないか点検を行いました。



福束輪中排水機樋管：平成26年5月15日



名神杭瀬川橋梁：平成26年5月15日